



学びと誇りが実感できるまち ～主体的・対話的で深い学び！～

平成31年 4月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

菜の花がしあわせさうに黄色して (細見綾子)

春光うらかな季節を迎え、躍動感あふれる新年度が始まりました。家庭や学校をはじめ各職場、地域においても新たな目標を設定し、到達ゴールの姿に向けて第一歩を踏み出されたことと思います。

さて、本年度も次代を担う子供たちが大きく成長していくことを願い、これまでの取り組みの反省をもとに引き続き課題解決を図っていくことや、新たにめざす目標に向けて挑戦していくことなど、「今、何をすべきか」「何をしなければならぬか」をしっかりと考え、知恵を絞り、家庭、学校、地域、行政が一緒になって、取り組みを進めていきますのでよろしくお願いいたします。

新しいことに挑戦するとき、最も大切なことは、現在の自分の能力を考慮して、できるかできないかを予測することではなく、「やる気」があるかないかである。これを忘れてはならない。

～ 斎藤茂太 (精神科医、随筆家) ～

各学校においては、新学習指導要領の全面実施に向けて様々な創意工夫を行い教科・領域等の教育実践を行ってきています。

とりわけ、今回の改訂で重視されている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善を通して※資質・能力を育む効果的な指導ができるように、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して、授業の研究・改善・実践をしています。

※ 資質・能力 : ①知識及び技能の習得
②思考力・判断力・表現力等の育成
③学びに向かう力・人間性等の涵養

具体的には、次のような授業をめざして努力を重ねています。

- 一つ一つの知識がつながり『わかった!』『おもしろい!』と思える授業
- 周りの人たちとともに考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- 見通しをもって、ねばり強く取り組む力が身に付く授業
- 自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業

学校の授業参観や懇談会が行われるとき、子供たちの学びがどのように展開しているのか、是非、注目し話題にさせていただきたいと思います。